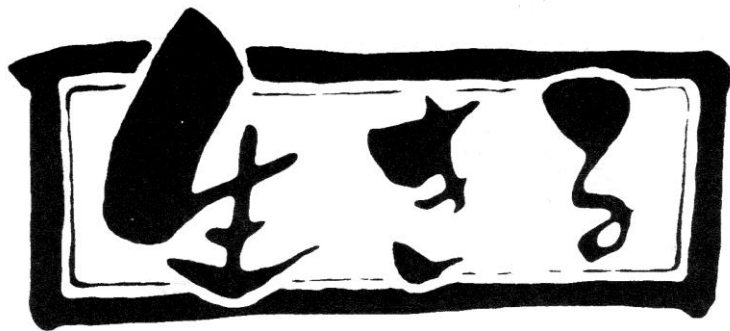




真宗大谷派 存明寺通信

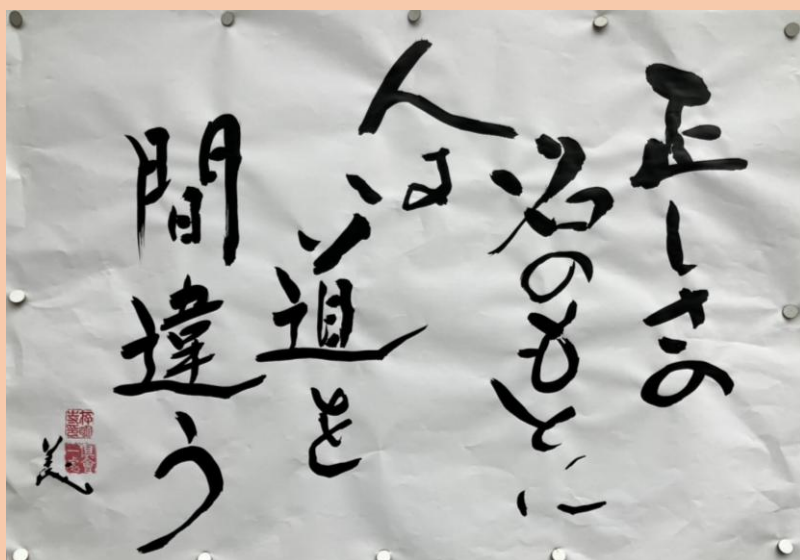
No.226

2025年(仏歴2556年)7月5日

2026年(令和8年)11月2日(月)・3日(火)に

きょうさんほうよう しゅうそしんらんしょうにんごたんじょう りっきようかいしゅう ぞんみょうじ
慶讃法要(宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年)が存明寺で行われます。

【私を照らすひかりの言葉】



7月の街角の掲示板上より



「正しさ」が、いけないというのはありません。「正しさ」を握りしめて、「私だけが正しい」と思い込むことが問題なのです。私の周りにいる人が、悪者に見えてしまうからです。

世界は今、「正しさ」に満ちあふれています。誰もが「正しさ」を主張し、相手を敵や悪とみなし、争いを起こしています。

そのことの愚かさや、罪深さに気がつくこと。悲しみや痛み的心をもつこと。それが私たちの本当に大切にするべきことなのではないでしょうか。

しんしゅうおたには ぞんみょうじ
真宗大谷派 存明寺



さき う もの のち みちび
 前に生まれん者は後を導き、
 のち う ひと とくら
 後に生まれん者は前を訪え。
 れんぞくむぐう
 連続無窮にして、願わくは休止せざらしめんと欲す。
 むへん しょうじかい つ ねが
 無辺の生死海を尽くさんが為の故なり

しんらん
 親鸞 『教行信証』476より

ある一枚の写真

▼つい最近、一枚の写真との出会いがありました。それがこの写真です。時は1930年（昭和5年）10月5日のこと。場所は存明寺が鳥山に引越してくる前にあった地・麻布天現寺橋です。そこには当時「存明寺麻布説教所」（現在は同じ大谷派の佑浩寺）がありました。中央右には「存明寺」「麻布」「説教」などの看板が見えます。

▼この写真は近所の子どもたちと一緒に芋ほりに出かける前の集合写真だそうです。一番右端の後ろの方が私の祖父の弟にあたる方ではないかと推測します。とてもたくさんの子どもたちがお寺に集まっています。その数50名以上。私の知らない風景でした。

先人に学ぼう

▼存明寺では、現在こども会やこども食堂などを開催しており、たくさんのこどもたちがお寺に集まっています。そのルーツがこの風景にあったのではないかと感じ、感慨深いものがありました。私が直接は会ったことのないご先祖様が、すでにしてこどもたちとの触れ合いを大切にしながら、そこに生きていたことを痛感しています。

▼右の言葉は親鸞さまが大切にされた言葉。現代語訳をお届けします。先人は次世代を導こう。次世代は先人に学ぼう。休みなく、止まることなく。深くて広い迷いの世界を精一杯、生き抜くために。

（現代語訳 住職）

存明寺のこども食堂



▼さて、その場所である港区南麻布の佑浩寺さんへ、この秋に訪問します。日帰り旅行会です。その目玉企画を、ここにご紹介します。

- ・前の前の地・芝金杉を訪ねし、存明寺があつた場所を訪ねます。そこに生きる大谷派住職にお話をさせていただきます。
- ・前の地・佑浩寺を訪ね、歴代住職の墓参、貴重な資料見学、住職にお話をさせていただきます。
- ・存明寺が、なぜ存明寺という名前なのか。現住職は知りませんでした。今回の調査で由来が書かれた文章が発見され、その意味が明らかに。当日発表いたします。
- ・佑浩寺さんをお借りして夕食交流会を行います。おいしいお料理と触れ合いのひとときです。詳細は4ページをご参照下さい。

住職日記

お寺の活動あれこれ

◆樹心の会

親鸞聖人に人生を学ぶ聞法会です。住職と門徒有志によるお話があります。その後、グループに分かれて語り合いの時間です。大切にしていることは「話を聞くこと」「自分を語ること」。9月から下半期が始まります。ぜひ足をお運びください。

◆こども食堂

毎月一回開催しています。こども・おとな・スタッフの総勢70名が集まってきます。キーマカレーにタイカレー、スープとデザートがふるまわれます。食後は触れ合いの時間。こどもたちは元気に食堂時間を楽しんでいます。

◆真宗聖典輪読会

副住職夫妻が主催する会です。親鸞聖人の教えが書かれた真宗聖典

を輪読し、その後座談会が行われます。コーヒータイムもあります。どうぞお気軽にご参加ください。

◆おとな食堂

コロナで中断をしていましたが6月にお試し企画で再開してみました。「私も孤食だ」とのあるご門徒の声を受けて真宗の香り漂うおとな食堂を、との企画です。真宗宗歌・挨拶のあと、一品持ち寄りの食堂のスタート。途中に感話や音楽鑑賞の時間があり、最後は恩徳讃で閉会です。「楽しかった」「またやってほしい」との声が挙がりました。またやりたいと思います。

◆おそうじの日

9月19日(金) 13時より、お彼岸法要に向けて墓地の植木の剪定や掃き掃除を行います。お手伝いいただける方を募集しています。目に見えて綺麗になるので、とても気持ちがいい、と評判です。ぜひご協力ください。



↑ 久しぶりに開店した「おとな食堂」



↑ 芝金杉の存明寺跡地に立つ古民家



↑ 副住職主催の「真宗聖典輪読会」

お寺のひろば 2025年(令和7年)

2025(令和7)年 お寺のひろば

9月13日(土) 14時 樹心の会

お話：岡田真氏・藤井良子氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

9月19日(金) 13時 おそうじの日

庭木の剪定と清掃のつどい

9月23日(火) 11時と13時 秋のお彼岸法要

お話：吉山綾子氏・山田政孝氏・酒井住職

9月27日(土) 14時 グリーフケアのつどい

大切な方を亡くされた人へ

内容：法要・ミニ法話・語り合い・音楽鑑賞

10月11日(土) 14時 樹心の会

お話：三好浩一氏・酒井あゆみ氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

10月17日(金) 13時 日帰り旅行会(特別企画)

存明寺の歴史を訪ねて(港区への旅)

10月24日(金) 10時 おみがきのつどい

11月2日(日) 14時 報恩講のゆうべ

3日(月) 12時 報恩講

講師：保々真量氏(九州教区光行寺)

内容：報恩講法要・法話・お斎(3日)

11月15日(土) 14時 樹心の会

お話：清光やす子氏・酒井浩美氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

12月13日(土) 14時 樹心の会

お話：吉山浩文氏・酒井大樹氏・酒井住職

12月20日(土) 14時 グリーフケアのつどい

大切な方を亡くされた人へ

1月1日(元旦) 10時 年のはじめの修正会

内容：正信偈・年頭法話・乾杯・書き初め

お気軽にご参詣ください



10月17日(金) 13時 日帰り旅行会

存明寺の歴史をたずねて

存明寺があった港区芝金杉や南麻布の寺院を

たずねる旅。この秋おすすめの企画です。

参加費：5,000円(夕食代を含みます)

11月2日(日) 14時 報恩講のゆうべ

3日(月) 12時 報恩講法要

内容：報恩講法要・法話・お斎(3日)

講師：保々真量氏(九州教区光行寺)

感話：井ヶ瀬恵子氏・城ノ下恭博氏

どうぞご参詣ください。お待ちしております。

【あとかき】

きょうさん

▼東京教区の慶讃法要が終わり、いよいよ来年の存明寺での慶讃法要の準備に突入しました。

▼この寺報の編集をしている今、嬉しいニュースが届きました。慶讃法要の特別ゲストが決定したのです。

▼記念講演のご講師は、あの有名な一楽真先生(大谷大学学長)にお越しいただくことが決まりました。うれしい限りです。住職も尊敬する大変すばらしい先生です。

▼そしてシンガーソングライターのヒナタカコさん(真宗高田派僧侶)が来てくださいます。ヒナさんにはコンサートで生の歌声と真宗の教えをご披露して頂きます。

▼今後ご門徒の皆さんと一緒に「慶讃法要」を創っていきます。ご協力をお願いいたします。

住職 義



東京都世田谷区北鳥山4-15-1

真宗大谷派 存明寺(そんみんやうじ)

住職 酒井義一(釋諦信)

TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp

永代経法要 速水馨氏を囲んで



子ども食堂バルーンコーナー

